

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月8日 (2013.8.8)

【公開番号】特開2011-85899(P2011-85899A)

【公開日】平成23年4月28日 (2011.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-017

【出願番号】特願2010-169704(P2010-169704)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 0 9 G 5/377 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 9 G 5/14 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 5/00 5 1 0 H

H 0 4 N 5/91 Z

G 0 9 G 5/00 5 3 0 T

G 0 9 G 5/36 5 2 0 L

G 0 9 G 5/00 5 1 0 M

G 0 9 G 5/36 5 3 0 Y

G 0 9 G 5/36 5 1 0 C

G 0 9 G 5/14 C

G 0 9 G 5/00 5 5 0 B

H 0 4 N 5/225 B

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

H 0 4 N 5/93 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月20日 (2013.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の順番を有する対応画像を少なくとも 1 つ表示する表示部と、

前記表示部に表示される対応画像を、前記順番に沿って切り替えるための切替指示が入力される入力部と、

前記切替指示に従って前記表示部に表示されている対応画像を切り替える切替制御部と、  
を備えた画像表示装置であって、

前記切替制御部は、前記表示部に表示されている対応画像と少なくとも次に表示されるべき対応画像との相関関係が密接でない場合には、前記切替指示に応じて決まる第 1 切替量で対応画像を切り替え、

当該相関関係が密接である場合には、前記第 1 切替量とは異なる方法で決まる第 2 切替量で対応画像を切り替えることを特徴とする画像表示装置。

**【請求項 2】**

前記第 1 切替量及び前記第 2 切替量が、単位動作当たりまたは単位時間当たりに切り替えられる対応画像の数であり、

所定の切替指示が入力された時の第 2 切替量が、当該所定の切替指示が入力された時の第 1 切替量以上になることを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示装置。

**【請求項 3】**

前記切替指示が指示量を示し、当該指示量の増大に応じて前記第 1 切替量が増大するものであり、

前記入力部に前記指示量が所定の大きさ以下となる切替指示が入力されるとき、前記第 2 切替量が前記第 1 切替量と等しくなることを特徴とする請求項 2 に記載の画像表示装置。

**【請求項 4】**

前記表示部が、相関関係が密接である対応画像の少なくとも 2 つを、1 つの対応画像としてまとめて表示することを特徴とする請求項 1 ～請求項 3 のいずれかに記載の画像表示装置。

**【請求項 5】**

前記表示部は、選択される対応画像が対応する画像データを再生するものであり、

相関関係が密接である複数の対応画像の少なくとも 1 つが選択されたことで、前記表示部が、当該複数の対応画像のいずれか 1 つが対応する画像データを再生しているとき、

前記入力部を介して切替指示とは異なる指示が入力される、または、前記入力部に所定の時間以上指示が入力されないと、

再生していない当該複数の対応画像のいずれか 1 つが対応する画像データを、前記表示部が再生するように変更することを特徴とする請求項 4 に記載の画像表示装置。